



院内学会開催

～今年も多くの研究が集結～

7月5日(土)に当院で第42回上天草総合病院学会が開催されました。これは、職員が日々の仕事の工夫や成果を発表し合う、年に一度のイベントです。医師や看護師はもちろん、リハビリスタッフや老健施設のスタッフ、看護学校の先生から事務職員まで多職種が参加し、毎年バラエティ豊かなテーマが並びます。

今年のテーマは、感染対策の取り組み、離島でのオンライン診療の活用、認知症予防の運動、地域連携による幅広い医療提供実現への取り組みなど、盛りだくさん。

アカデミックなものから日頃取り入れられるような身近なものま



で、総勢15のテーマが揃いました。どれも、日々の業務の中で生まれたアイデアや工夫を取り入れ、患者さんに対してよりよい医療やサービスを提供しようという想いが詰まっている内容でした。また、他部署でも応用できるノウハウやヒントが多かったため、たくさんの質問が飛び交っていました。

病院はさまざまな職種がそれぞれの場所で仕事をしているため、普段お互いの工夫を目にする機会は限られています。だからこそ、日々の業務を工夫し、絶えず学びながら成長することが重要です。これからも当院は地域に寄り添いながら「信頼される地域医療」を実現するため、日々研鑽に努めてまいります。



◆最優秀賞演題賞

上天草市における3歳児視覚検査での屈折値の15年間の変化

○眼科 視能訓練士 蕪 龍大

市が実施する3歳児視覚検査での15年間(2,600人以上)のデータをもとに近年、低年齢から強まる近視傾向の要因を分析。将来的な目の病気を引き起こすリスクを回避するためにも早期発見・早期対応が重要であり、幼児期からの目の定期的な健康チェックが有効であることを報告。



◆優秀演題賞

「食べたい」という気持ちに寄り添って～高齢者にとっての食事の意義と必要性～

○介護老人保健施設きららの里 介護福祉士 森 春佳

医師、栄養士、リハビリスタッフ等が入所者の「食への意欲」に寄り添い、段階的に食形態をアップさせることで、喜び、体力、笑顔を取り戻し、施設を退所するに至った事例を通じ、「食」は単なる栄養補給でなく、人とのつながりや生活の楽しさを得る大切な営みであることを報告。



◆優秀演題賞

社会人基礎力を育むための臨地実習における自己点検シートの有用性と教育的支援

○上天草看護専門学校 教員 松本 貴子

医療の現場で活躍する人材になるためには、信頼関係を築く力、他の職種と協力する力、変化に柔軟に対応する力、主体性をもって動く力等の「社会人基礎力」が求められており、看護学校の臨地実習で使用する「自己点検シート」が、学生が自らの強みや課題に気づき、改善を促すため有効なツールになることを実習前後の学生の変化をもとに報告。



病院探訪

女性スタッフが対応します

第2回目は婦人科を紹介！



当院産婦人科は、昭和39年の病院設立より13人の産婦人科医により守り、受け継がれてきました。前任の姫野医師の退職によりしばらく業務を休止しておりましたが、2023

年1月より私、坂口優子が赴任し、婦人科を開設しました。月曜日、水曜日の外来診療とほぼ毎日のオンライン診療を行っております。

妊婦健診/分娩以外は、ほぼすべての領域において診療しています。例えば、月経に関する悩み（思春期も含む）、更年期障害、女性特有の悩み、感染症、骨盤臓器脱（以前は子宮脱といわれたもの）、一般不妊治療、妊娠初期の対応（切迫流産、つわり）、良性・悪性腫瘍、子宮頸癌ワクチンなどになります。入院、手術加療も行っております。

当科では、県内でもめずらしいオンライン診療を行っています。患者さんが、スマホやタブレット、PCで指定アプリから入っていただいて医師と話をし対面診療をうけるというものです。処方が必要になれば、かかりつけ（自宅から近い）の薬局に当科からFAXしますので、患者さんはそ

らに薬をとりに行くだけですべて完了です。忙しくて時間がない方、当院まで遠方でなかなか受診が難しい方には、とても便利なシステムです。

また、当科では抗がん剤治療を行っております。手術を他院で行っていても、抗がん剤治療の為に遠方の病院に通うのが大変だと考えておられる方は、是非当院をご利用ください。

地域の皆様のお役に立ちたいと日々奮闘しておりますが、当院で婦人科診療を行っていることを未だにご存じない方が多く、遠方まで受診され、あとから知ったと言われる方も少なくありません。産婦人科の受診は、なかなか気が進まず、先延ばしになることが多いと思いますが、女性スタッフがお待ちしておりますので、安心して受診してください。



きららの里便り

地域に支えられて30年 ～創立30周年記念式典を終えて～

このたび、「きららの里」はおかげさまで創立30周年という節目を迎え、令和7年7月1日に当施設において記念式典を無事に執り行うことができました。これもひとえに、地域の皆さまをはじめ、長年にわたりご支援・ご協力を賜りました関係者の皆さまのお力添えの賜物と、心より感謝申し上げます。

当日は、龍神太鼓「咲楽」による太鼓の演舞、龍ヶ岳保育園の園児によるステージイベントをご披露いただき、通所利用者、入所利用者の方も大変喜ばれ、盛況

のうちに式典を終えることができました。また、これまでの歩みを振り返りつつ、これからの未来に向けて、より地域に根ざした施設として一層努力してい

く決意を新たにいたしました。30年という年月の中で、時代とともに私たちの活動も変化してまいりましたが、「自然とふれあい、人とふれあい、心豊かな時間を過ごせる場所」として、これからも変わることなく受け継いでまいります。

今後とも、きららの里をどうぞよろしく願い申し上げます。 令和7年8月 きららの里職員一同



のうちに式典を終えることができました。また、これまでの歩みを振り返りつつ、これからの未来に向けて、より地域に根ざした施設として一層努力してい



水害の教訓を語り継ぐ

2025年7月4日、53年前の天草大水害を記念する式典が行われました。正午から全館放送を合図に黙とうが捧げられ、続いて6階会議室で式典が開かれました。今年は例年になく参加者が多く、脇田富雄病院長の講話のあと、当院職員の小松田十美江さんの「水害の記憶」と題した講演が行われ、改めて水害の恐ろしさを知ることができました。私たちの病院では上天草大水害の教訓を忘れぬように世代を超えて語り継がれており、今後も毎年継続して式典を開催することが確認されました。式典後は例年どおり、災害時の配給食であった「おにぎりとメザシ」が配られ、災害復旧にあたった人たちの苦労に思いをはせました。

(病院事業管理者 船曳 哲典)



水害の記憶

天草大水害が発生したのは、私が8歳の時で、その日は朝からとてもひどい雨でした。明日は七夕、教室で七夕飾りを作っている時生徒は全員3階の講堂に集められ皆で外を眺めて過ごしていました。



運動場より校舎が高い位置にありますが、運動場は海のように泥水で一杯で、校舎も浸水し先生方が駐車していた車が船のように浮いているのを皆で眺め「船みたい」とか「こわかね」といいながら窓にへばりついていました。午後になって家の人を迎えに来るのを待っていました。午後から大人の方たちが雨戸に人を乗せて運んで来たのを覚えています。母が胸まで水がある中迎えに来て、従兄弟と一緒に母に背負われて帰りました。家も畳の所まで水が来ていました。龍ヶ岳中学校が避難所になり、運動場には自衛隊の車やテントが張られ自衛隊の方が沢山いらっしゃいました。

被災された方々はくぐ島(セイショと呼んでいた)に仮設住宅が出来、そこに沢山の方が入居されました。そこにはお風呂はなく共同浴場があったそうです。プレハブ造りの住宅は夏は暑く冬は寒かったと聞いています

その後、海岸だった所が埋め立てられ新築の家や、市営住宅が出来そこへ移り住まわれました。とにかく雨が怖かった、でも次の日からは良い天気になり暑い夏が長くつづいたと記憶しています。

(情報管理室 小松田 美十江)

看護学校News

オープンキャンパス大盛況！！

7月26日、上天草看護専門学校にてオープンキャンパスを開催しました。近くは上天草市内、遠くは関東からなど、広い地域から生徒40名、保護者34名、合計74名の参加がありました。看護学生の学習環境や生活を知ってもらうため、妊婦体験や模擬採血、疑似患者人形を使用した心音・呼吸音の聴診、白衣試着など様々なコーナーを学生が準備し、参加者に体験してもらいました。昼食を交えた交流会では、寮の人気メニューのドライカレーを食べながらさまざまな話を

した。「楽しかった」「看護について深く学ぶことができてよかった」などのお声をいただき、進路選択の1つとして興味を持っていただいたようでした。学校案内は随時行っておりますのでご興味がある方はお気軽にご連絡ください。



していました。参加者には、いきいきと楽しく学ぶ在学生の雰囲気が印象に残ったようで「優しく教えてもらい、来てよかつ

入試情報

令和8年度の学生を募集しています。

試験日程や入学試験対策など

詳細は学校ホームページをご覧ください。

QRコードはこちら→



新入職員奮闘記



辻本 光辰 令和7年4月1日採用（5病棟配属）



4月から地域包括ケア病棟（5病棟）に配属された新人看護師の辻本光辰です。現在は、注射や点滴の介助、車いすやベッドへの移動のサポート、患者様が安全に過ごせる環境づくりなど、さまざまな業務に取り組んでいます。先輩方からご指導いただいたことをメモに残し、復習を重ねながら、患者様に確かな技術で援助できるよう日々努力しています。

地域包括ケア病棟では、患者様の在宅復帰に向けた支援や、生活に寄り添う看護が求められます。思うように技術が身につかず、「自分は看護師に向いていないのでは」と悩むこともありましたが、患者様から「辻本くんにはお願いがしやすい」「いつもありがとうね」と声をかけていただいたとき、心の疲れがふっと軽くなりました。

名前を呼ばれ、感謝の言葉をいただける瞬間は、自分の関わり方が患者様に安心感を与えているのだと実感でき、何よりの励みになります。「この仕事を選んでよかった」と心から思える瞬間です。これからも患者様一人ひとりに寄り添い、信頼される看護師を目指して頑張っていきます。

病院豆知識



CTとMRIの違いって？

皆さんはCTとMRIの違いをご存知でしょうか。どちらも大きな筒の中に入って体の断面を撮る検査ですが、原理や特徴は全く異なります。

まず簡単に原理の違いですが、CTはX線（放射線）を使用して画像を得ています。一方MRIは放射線を使わず、強い磁気とラジオ波を使用して画像を得ています。

次に当院のCTとMRIの特徴を紹介します。

【CT】

- ・検査時間が短い。（10分程度）
- ・検査音は小さく、閉塞感も少ない。
- ・短い時間で広い範囲を撮影できる。
- ・骨や肺の内部構造を細かく描出できる。
- ・少量の放射線被ばくがある。
- ・血管や腫瘍は造影剤を使わなければ評価できない時がある。

【MRI】

- ・一定の検査時間が必要。（20～60分程度）
- ・CTに比べ検査音が大きく、閉塞感を感じる。
- ・軟部組織の細かな違いがわかる。
- ・放射線被ばくがない。
- ・造影剤なしで血管の描出が可能。
- ・体内にペースメーカーや磁気に反応する金属などがあると検査できない。

どちらも一長一短ありますが、医師が目的により選択し検査を行なっていますので、ご安心ください。

検査について不明な点などありましたら、お気軽に診療放射線技師にお尋ねください。（放射線科 井上）



お知らせ

◆がんサロン

毎月第3木曜日 13:30～ 当院6階講堂

◆心臓リハビリテーション教室

毎月第4金曜日 13:30～ 当院6階講堂

*日程変更がある場合があります
興味のある方はお問い合わせください

編集後記

自宅に届いた回覧板に「あこう」が入っていました。病院を知ってもらうためにリニューアルし、実際に住民として手にして不思議な感じがしました。今回も様々な病院行事を載せています。ぜひ、身近な施設として知っていただければ嬉しいです。(S)

上天草市立上天草総合病院

住所: 866-0293 熊本県上天草市龍ヶ岳町高戸1419-19

電話: 0969-62-1122(代) FAX: 0969-62-1546(代)

URL: <http://www.cityhosp-kamiamakusa.jp/>

Eメール: kamiama@cityhosp-kamiamakusa.jp

発行: 上天草市立上天草総合病院広報委員会



***上天草市立上天草総合病院通信あこうは、病院の窓口にありますので、ご自由にお取りください。**